

## 自動飛行型ドローンの農薬散布実演会を開催しました！

7月24日に中越地区の水稲ほ場において、自動飛行型ドローン(株)ナイルワークス製)による農薬散布実演会を開催しました。猛暑の中でしたが、生産者、JA、関係機関など総勢約60名の方から参加いただきました。

当日は「わたぼうし」のほ場で、スタークル液剤の散布をおこないました。事前にほ場の場所や面積などをタブレット端末に登録しておき、散布前はバッテリーと薬剤をセットし、あとは開始ボタンを押すだけで自動飛行が始まります。



若干の風がありましたが、飛行は非常に安定していて、およそ60aのほ場を15分程度で散布を終え、元の場所にドローンが戻ってくると、飛行の安定性や自動飛行の性能の高さに参加者からは感心する声が聞かれました。

全農では、(株)ナイルワークス製ドローンを平成31年度から取扱いする予定で準備を進めています。取扱い条件等は、今後、JAを通じてご案内いたします。



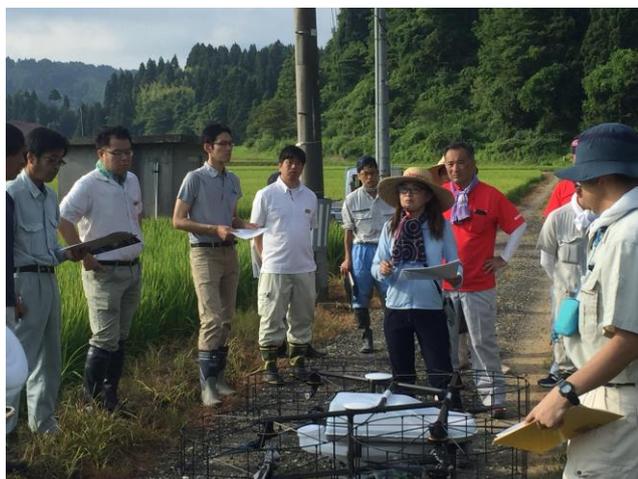
Aさん

自動飛行によりオペレーターの疲労を緩和できる点が良いと思います。  
今後、ドローンの性能が上がり、導入コストが下がれば、ドローンの活用が増え、省力化や人件費の削減にもつながると思います。



Bさん

高度が低くて大丈夫かと思いましたが、飛行は安定していて安心感がありました。薬剤が株元に届きやすいので、より効果が期待できると思います。  
これから粒剤なども散布できるようになると、ドローンの使い道も増え、省力化になると思います。



(株)ナイルワークス製ドローンの特長

- ほ場の形を事前にタブレット端末に登録しておけば、散布時に開始ボタンを押すだけで離陸から散布、着陸までをすべて完全自動で行います。
- 散布ポンプのON/OFFと薬剤突出量が飛行速度に合わせて自動で設定される機能があります。
- 稲穂の上空30~50cmの低空飛行と、二重ローターが作る気流により、ドリフト率が少なく、付着効率の高い農薬散布ができます。
- また、株単位の正確な生育診断機能を開発しています。

飛行時間	15min(8ℓ散布時)~20min(非散布時)
飛行速度	最高時速20km
飛行可能風速	非散布時:10m/sまで 散布時:3m/sまで
液剤散布装置	散布可能薬剤 液剤、液肥
	薬剤タンク容量 8ℓ
	散布量 0.8ℓ/min
	散布巾 3m
	ノズル数 4
	薬剤粒子径 136~177μ m
粒剤散布装置	準備中

(JA全農にいがた 担い手・営農支援部 担い手・営農支援課)